

# 活動報告

# 活動報告

## 徳島県勤労者山岳連盟



徳島県勤労者山岳連盟は、県内の7つの登山団体の集まりで、安全な登山技術の普及と山岳自然保護思想の啓発などを目的として活動しています。主な活動としては、初心者を対象とした登山教室を始め、県内の山から日本アルプスまでの登山技術や知識を習得する教室、また冬山や岩登りを対象とした教室も

開催しています。自然保護思想の啓発では、6月に「剣山クリーンハイク」を12月に「眉山クリーンハイク」を行い、さらにはニホンジカの食害防止のための活動や自然林の保護保全活動を県内の環境保護団体や行政機関と連携して行っています。皆さんも一緒に山登りなどをしませんか。

## 徳島県山岳連盟 (<https://www.facebook.com/TokushimaGakuren>)



徳島県山岳連盟は、(公社)日本山岳・スポーツライミング協会の下、アルパイン(登山)とスポーツライミング(オリンピック競技)の活動を行っています。アルパインでは「少年少女登山教室」をはじめとする安全登山の普及から岩登りや積雪登山までオールマイティに活動しています。また、自然保護活動として、登山道の環境整備(草刈り)や環境保全(近自然工法による登山

道整備)を行っています。前回の登山道整備(草刈り)には一般の方にもご協力いただき、環境保全に関心を持ち、機会があれば行動に移せる方が多くいることを心強く思いました。歩きやすくなった登山道を活用していただくと幸いです。山登りの仲間も募集しています。登山は自然相手の壮大な活動です。皆さんも一緒に山登りを楽しみませんか。

## 南つるぎ地域活性化協議会



南つるぎ地域活性化協議会は、剣山系の南側を中心に環境保全活動、観光資源としての魅力創出、地域活性化を目的に活動しています。ニホンジカの食害を防ぐための“食害防止ネット設置”を9年前から継続し、捕獲した鹿肉の活用にも取り組んでいます。手つかずの自然が残る南つるぎを、広く知っていただくための登山道整備や標識の設置も

行っています。また、毎週日曜日“山の遠足”として、山歩きイベントを行い、2024年2月に645回を迎えました。

ブログ「山の遠足」 YAMAP 徘徊老人



## 特定非営利活動法人 三嶺の自然を守る会



三嶺山域の生態系は悠久の時間が創り上げました。山頂部の素晴らしい展望と奥山の雰囲気を感じ出す中腹の樹林は訪れる登山者を魅了しています。ところが、昨今のオーバーユース問題やシカ食害により自然環境に影響が出ています。この状況を受け、本会は2000年からこれまで①踏圧による裸地部の植生回復、②山域の巡視活動と登山道補修、③山のトイレマナーアップと水場の水質調査を実施。シカ食害対策として、①単木ごとの樹木ガード活動、

②希少植物の保護と林床の再生をめざす防シカ柵の設置・補修、③剣山山系でのシカ食害調査を実施しています。今後も三嶺の大切な自然を次世代へ繋ぐため、これまでの活動を継続します。多くの方々に三嶺山域の現状をご理解いただき、活動へのご参加をお願いいたします。そして本会は、山歩きが好き、山の花が好き、山の写真が好き、山へ車を走らせるのが好き等々、山大好き人間を募集中です。一緒に三嶺山域に行きましょう。

## 特定非営利活動法人 きさわクラブ



NPO法人きさわクラブは、那賀奥(那賀町木沢、木頭地区)を中心に、深い自然や剣山スーパー林道の魅力、伝統文化、郷土食を守り、紹介することで未来につなげる活動を行うため2017年1月12日に設立。具体的な活動では、県内外から登山客を募り、那賀奥の四季や希少な動植物を知ってもらうツアーをほぼ毎週末に開催。また、徳島県新人研修の会場・講師を務め、山国徳島県に

秘められた魅力を紹介。いち早くジビエ料理(阿波地美栄)の普及に取り組み、きさわクラブが運営するレストハウスファガスの森「高城」で、鹿肉のカレーやハンバーグなどを提供。人気の名物料理となっています。今後はイベント開催など多くのみなさんに楽しんでいただきながら、那賀奥地域の活性化、自然環境の保護保全に取り組んでいきたいと考えています。

## 「山の日」イベント



徳島県と剣山国定公園地域連携協議会(※)の共催により、自然保護活動や登山の楽しさを伝えることを目的として、「山の日」イベントを開催しました。小学生・保護者との登山体験や、高校生による「剣山への思い宣言式」など、次代を担う若者にとって剣山の魅力を再認識する機会となりました。

2023年度は台風の影響により、山の日(8月11日)ではなく、10月15日に実施されました。少し肌寒さが感じられましたが、参加者はみな、はつらつとした表情で登山等を楽しんでいました。

(※)剣山国定公園地域連携協議会  
剣山国定公園の指定50周年を期に、関係者や有識者と相互連携を図りながら、貴重な自然を未来に継承していくことを目的として、2014年6月に設立。

## 認定特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター



私たちは四国全域を対象として、さまざまな野生生物の調査研究活動を展開し、得られた結果を基に人と生きものの共存方法を模索しています。センターでは調査研究活動の他にも生物試料の収集・保管、傷病野生鳥獣の救護、人材育成活動などを実施しています。剣山山系ではツキノワグマやニホンジカ、カモンシカなどの生息状況調査を継続して実施してきています。四国山地のツキノワグマは国内で最も絶滅の可能性が高い状況であり、生息数は20頭

ほどと推定されています。正確な生息状況を把握するために自動撮影カメラによる調査や捕獲調査などを行っています。調査で得られた結果は関係行政機関と共有し、保全活動に役立てています。剣山山系のいくつかの施設で調査成果やクマの生態を紹介したパネルを展示しています。

剣山の豊かな自然の象徴でもあるツキノワグマについて、現状を知っていただき、その未来を一緒に考えていけたらと思います。

## 特定非営利活動法人 剣山クラブ



NPO法人剣山クラブは、豊かな徳島の山岳自然環境を後世にまでつなげていくことを目的に、2003年12月24日に設立しました。徳島県内には、西日本第二位の標高を誇る剣山を中心に、剣山国定公園エリアには自然豊かな山々があり、登山者のみならず大勢の観光客を招き、自然の素晴らしさを教えてくれています。一方、登山者や観光客が急増することによってゴミ投棄、植物の盗掘や施設整備に伴う開発など、さまざまな環境の変化や悪化、また特異な気

象が原因になった自然災害による環境変化があり、こうした変化の現状を放置したり、点検や監視、復旧を怠ったりすれば、剣山をはじめ山々の希少な自然は著しく傷つき損なわれ、取り返しがつかなくなります。

全国的にもまれな動・植物なども息づき生態系が保たれている環境を私たちの世代で絶えさせざることを防ぎ、後世に残したいと考えて保全保護活動に取り組んでいます。

## 剣山国定公園指定60周年 記念シンポジウム

🕒 2024年3月3日(日) 13:00-16:30

📍 美馬市地域交流センターミライズ 市民ホール



剣山国定公園が、2024年3月3日に「指定60周年」を迎えるにあたり、その最大の魅力である「自然」について現状と課題、自然保護のあり方を県民の皆さんに広く知っていただき、一人一人が地域の自然を守り伝えていく担い手となる意識の醸成を図るため「剣山国定公園を取り巻く自然環境を考え、守る」をテーマにシンポジウムを開催しました。JR駅構内におけるポスター掲示

や、剣山周辺市町の広報誌への掲載等、積極的なPRを行った結果、募集期間終了前に定員(400名)に達するなど、多くの方々に関心をお持ちいただきました。

第一部では、「豊かな自然を次代につなぐ」と題して、プロアドベンチャーレーサーの田中陽希さんに講演いただきました。実体験を含めた大変興味深い内容で、来場者は熱心に耳を傾けていました。



第二部では、脇町高校、つるぎ高校、池田高校の山岳部員の皆さんに活動内容の紹介を通して、登山や自然の魅力を発信いただきました。また、剣山国定公園地域連携協議会会長も務められる、徳島大学大学院教授の鎌田磨人先生にコーディネートいただき、パネルディスカッ

ションを行いました。自然保護や観光関係団体の方々に加えて、田中陽希さんにもご参加いただき、「世代を超え『剣山国定公園』の自然環境を100年つなぐ・守るための取り組み」について、活発な意見交換が行われました。